

高橋一栄さん

TAKAHASHI KAZUE

三豊市立三野津中学校 教諭



バリバリの文系から理科の教師へ…
生徒の発見や成長が何よりうれしい



▶ 理数科目に苦しんだ高校時代

中学時代は薬剤師か福祉系志望でしたが、高校で数学と化学につまづき「理系は絶対無理だ!」とパニックに…。でもユニークな先生に出会って地学の面白さに気づき、人にもものを教える喜びや小学校の理科の実験の楽しさも思い出して、「理科の先生になるのもいいかも」と思うようになりました。高校の理数科目は難しすぎたので、文系で受験して教育学部へ。オープンキャンパスで理科の教授に「必要なことは大学に入ってから学べるから、文系出身でも大丈夫」と言われたことにも、背中を押してもらいました。

▶ 地学の楽しさが今の道を拓いた

大学2年次の教科選択では迷わず理科へ。そのまま大学院に進み、専門は天文学でした。原体験は高校時代、全国の高校でしし座流星群を同時観測するイベントや、天体望遠鏡を使ってメシエ天体を見つける合宿など、天体観測に夢中になった地学部の思い出です。卒業後、2013年度採用で中学校教師になり、三野津中学校は3校目。1年生の担任を務めるかたわら、1年・2年生の理科を担当しています。授業中は思考をゆるめずテンポのいいコミュニケーションを重視するタイプで、その中で生徒たちの発見や成長を間近に見るのが何よりのやりがいです。

▶ 現場で生徒とかかわり続けたい

理科はよく「何の役に立つの?」などと言われ、日常とかけ離れていると思われがちですから、私がか大切にしているのは身近なもの結びつけること。私自身の経験も交えながら、生徒たちの興味や驚きを刺激するよう工夫しています。今後のキャリアがどうなるかは未知数ですが、私としては、なるべく生徒に一番近いところで成長を見守れる現場に立ち続けたいです。

Profile

香川県生まれ。香川県で教員になりたいと思い、香川大学教育学部に入學。小中高の教員免許状を取得。さらに天文学の研究をするため、同大学大学院教育学研究科へ進学。恒星の偏光の変化を調べる研究をした。修了後、小中学校の教員として教壇に立つ。現在、三豊市立三野津中学校にて勤務。

▶ 切り絵歴、10年以上!

初担任のクラスにいた不登校の生徒の趣味が切り絵で、会話のきっかけにと始めたら私もハマってしまい、10年以上続けています。合唱コンクールの楽譜の表紙も飾りました。



中高生への Message

理系が大の苦手でも、実験の楽しさや天文学への興味など「自分が好きなもの」を集めた結果が今の仕事につながりました。好きなものを追求する過程では苦手なことに挑む必要があるかもしれませんが、「好きなことをやるために努力する」モチベーションがきっと生まれるはず。いろんな方向にアンテナを張っているうちに、自分のやりたいことや進みたい道が見えてくるものだと思います。